

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< No.38 2011. 7.10 > 連絡先 402-1622

市北部 山口・滝畑地域に 最終処分場の計画

県下最大の18ha290万㎡の安定型産業廃棄物最終処分場の建設が、和歌山市北部の滝畑・上黒谷地区に予定されています。

産業廃棄物処分場については、きちんと処分する仕組み・条件が極めて不十分で、不法投棄や水質汚染など全国的にトラブルが発生しています。日本共産党は、「市は、中核市として、許可・監督の権限を持っているからこそ、その権限にふさわしく、住民に安全・安心の立場から臨むべきである。住民のみなさんの様々な不安と切実な訴えを踏みにじってはいけない」と主張しました。(28日 南畑議員の一般質問より)

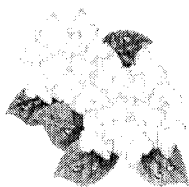


廃プラなどが野ざらしになっている紀の川市の最終処分場

その後、常任委員会(厚生委員会・松坂担当)でも取り上げ、当局は阪南市に加え、最初は出していなかった和歌山県・和歌山市・大阪府の意見書も資料として常任委員会に提出し、現在はこれらの意見書をもとに、事業者が出した事業計画について協議がすすめられていることを明らかにしました。

みち子のひとりごと ボランティア

というわけで、来週のことには、松坂みち子ですは、お休みさせていただきます。



体験し、役に立ってきたかと思っ

てこようと決意したというわけです。
テレビなどで見ると、ボランティアと一口に言っても、がれきの片づけのような体力勝負のものから、避難所のお手伝い、避難者の話し相手、写真の洗浄などのように体力に関係ないものまであるようです。実質働けるのは2日と半日ですが、できればいろいろなことを

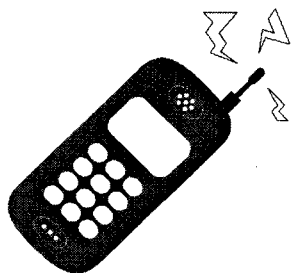
意を決して、東北へ行って来ます。
7月12日から17日まで、和歌山の共産党の派遣団の一員として参加することになりました。「自分にできること(実際の行動としては募金活動、広い意味では、自分に与えられた仕事をこなす、過度に自粛しない生活を送ること等)を実践していました。そんなときにボランティアの話があり、この機会に行つてこようと決意したというわけです。」

災害時の情報をすべての市民に

3月11日の、大津波警報・避難勧告を知らせる防災無線放送が、市内の多くの地域で「聞こえなかった」「何を言ってるのかわからなかった」と聞きました。

防災無線は海岸や河川の沿岸部に71基、各小学校に52基の123機が設置され、声の届く範囲は、無風状態で300m、風によっては最大500mということです。付近に5基も設置されている琴の浦地区は、狭いのに全域に声が届きません。できるだけ広い範囲をカバーしようという視点に立たず、公共施設など建てやすい所に設置していることが原因だと思われます。

防災無線は音声による放送ですから、聴覚障害者には声が届きません。姫田議員は聴覚障害者に対する広報がどのようにされているかと質問。市は、聴覚障害者への広報は特にしていないと答弁。ここに「聞こえない防災無線」の問題点が表れていると思います。市は障害者にも利用できる携帯電話による「メール配信サービス」などを対策としてあげましたが、震災時には回線がパンクして使えなくなるのではという質問に、使用できない場合もあると答弁。



姫田議員は、ヘリコプターやのろしなど空からの広報、聴覚障害者には聴覚障害者向けCS通信を市役所ロビーで受信できるようにすること、和歌浦自治会の経験を冊子にして他の自治会に配布することを提案し、できるだけ早く実施するよう求めました。（姫田高宏議員の質問から）

熱中症にならないために

…前回と順序が逆のようですが

- 1、暑さを避けましよう…扇風機やエアコンを上手に使って
- 2、服装を工夫しましよう…通気性の良いものを着ましよう
- 3、こまめに水分補給しましよう…体温下げるためにはしっかりと汗をかくことが重要です。のどが渇いてなくても、水分を取ることが大切です
- 4、急に暑くなる日に注意しましよう…暑さになれないうちには熱中症になりやすいので、特に注意しましよう
- 5、暑さに備えた身体作りをしましよう…日頃から汗をかく習慣をつけておくと、熱中症にかかりにくくなります。

